

色覚研究会

Special Interest Group on Color Vision

https://color-science.jp/color_vision/labnews/

主査 溝上 陽子 (千葉大学)

e-mail: sig-color-vision@ml.chiba-u.jp

私たちが色をどのように知覚しているのか、一緒に探っていきませんか？

◆活動報告や活動計画など

色覚研究会は、私たちが色をどのように知覚しているのか理解し、応用面を含めて広く深く研究することを目的としています。色覚メカニズム、色の見え、色覚の多様性、カラーユニバーサルデザイン、色覚特性の応用など、色覚に関するあらゆる話題を対象としています。研究会の発表や専門家との交流を通して、色覚に関する知識を深め、色覚に関する様々な意見交換や議論ができます。

現在の幹事は、市原恭代(工学院大)、岡嶋克典(横浜国立大)、鍵本明里(奈良女子大)、坂本 隆(産業技術総合研究所)、篠森敬三(高知工大)、須長正治(九州大)、辻村誠一(名古屋市立大)、徳永留美(千葉大)、顧問は、小町谷朝生(東京芸術大名誉教授)、佐川賢(産業技術総合研究所)、矢口博久(千葉大名誉教授)です。

昨年度の研究会は2回開催しました。令和4年度秋の研究会大会色彩科学系5研究会合同研究発表会(令和4年11月27日)では、口頭発表8件と中内茂樹氏(豊橋技術科学大学)の招待講演「絵画配色の好みに見られる普遍性」が行われました。令和4年度研究発表会(令和5年3月1日)は、ハイブリッド形式で行いました。一般講演3件と、澤山正貴氏(東京大学)の招待講演「日常風景に含まれる色の多様性と質感認知」、鍵本明里氏(横浜国立大学)の解説講演「中心視における5種の光感受性細胞と色知覚」が行われ、参加者は57名(現地10名、オンライン47名)でした。今年度も同様に研究会活動を継続してまいりますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

白色度研究会

Special Interest Group on Whiteness

<http://color-science.jp/brightness/labnews/>

主査 井澤 尚子 (東京家政学院大学)

e-mail: isawa@san.kasei-gakuin.ac.jp

白を手かがりには色彩の課題を広く探っていきましょう！ぜひ、みなさんとご一緒に！！

◆白色度研究会とは

白色度研究会は、2003(平成15)年に発足した「白色度研究委員会」を前身として、現在まで研究会活動を続けています。現在の「白色度研究会」に名称変更したのは2008(平成20)年です。白色度研究会は、日本色彩学会学術委員会傘下の研究会として、白色度に関わる分野の研究を促進し、研究成果を社会へ還元することを目的に活動しています。

ここで、現在の研究会の構成をお知らせします。

主査：井澤尚子

幹事：片山一郎、鈴木健一

監事：側垣博明

顧問：小町谷朝生、内田洋子

会員：20名

研究会としては小規模ですが本研究会の活動は、白色度からのアプローチや、色彩学の多岐にわたる分野にお

ける「白」を考える内容の講演会、講習会、勉強会、見学会、研究発表会、シンポジウムなどの企画と運営、さらに共同研究、共同実験、共同調査等の共同事業も含まれます。

◆これからの白色度研究会

昨年度は、関連学会での研究発表を除き主だった活動のなかった本研究会ですが、2023年度は講演会・研究発表会を予定しています。また、近年は白色度だけにこだわらず、広く色彩に関わるテーマを扱った研究発表も募集しています。社会現状に即した開催方法を駆使し、学会会員や一般のみなさんも参加しやすい活動を目指します。広く研究会の活動に興味を持っていただくことが、学会の発展にもつながると考え、今後も少人数の良さを活かして活動の幅を広げていきたいと考えています。研究会への入会は随時受け付けています。